

## 第48回通常総会開催 ..... 2

5月27日、会員130名余の出席を得て第48回通常総会を開催。

総会終了後の役付理事選任理事会にて、新会長に依田 誠氏が選任されました。

## 第49期（平成28年度）事業計画大綱 ..... 3

## 依田 誠新会長就任ご挨拶 ..... 4

## 服部重彦前会長退任ご挨拶 ..... 5

## 新役員名簿 ..... 6



## 会員企業優秀従業員定例表彰 ..... 7

5月11日、京都工業会館にて表彰式を挙げる。

会員企業より推薦された56氏（45社）が優秀従業員として表彰されました。



## 会員企業トップにインタビュー（第5回） ..... 8



第5回目は、(株)森川製作所（京都市伏見区）に藤永清恵社長を訪問。

新たに社長に就任されたばかりの藤永氏から、創業120周年を迎えた同社のこれまでの歩みや今後の抱負についてお話を伺いました。

◀（左：藤永清恵社長、右：森川真伍会長）

## 京都工業クラブ開催 ..... 9

## 白鷺クラブ40周年記念式典開催 ..... 9

本会の若手経営者グループである白鷺クラブが本年創立40周年を迎え、記念式典を開催いたしました。

## 業務革新研究会活動スタート ..... 10

弊会基幹事業の1つである業務革新研究会（8研究会）が4月27日総合オリエンテーションを開催し、今年度の活動をスタートしました。研究会活動内容も随時紹介。

今回は、生産革新研究会：TPM改善部会と品質革新研究会をご紹介します。

## 案内 キューバ・カナダ産業視察団 ..... 9

今年度の産業視察団は、米国との国交回復後関心が高まりつつあるカリブ諸国最大の市場キューバと、カナダ最大の都市で経済の中心であるトロントを訪問します。

## 叙勲・褒章の栄 ..... 11

## 訃報 ..... 11

## 新連載 女性活躍推進企業事例紹介（第1回） ..... 12

「女性活躍推進法」の施行により企業における女性活躍のための環境整備が求められていることから、京都工業会で昨年度誕生しました、モノづくり企業で活躍する女性管理職と候補者をメンバーとする「女性の会」の会員の中から、先進的な取り組みを実践しておられる企業の事例をご紹介します。

# 第48回 通常総会を開催 — 新会長に依田 誠氏を選任 —

5/27

5月27日(金)、京都ホテルオークラにおいて、第48回通常総会が会員130名余の出席のもと、盛大に開催された。

服部重彦会長が開会挨拶を行った後、議長に選任され、議事に入った。

当日の議案は次の通り。

第1号議案：第48期事業報告及び決算の承認の件  
〈平成27年4月1日～平成28年3月31日〉

第2号議案：役員の任期満了に伴う改選の件

第3号議案：定款の一部変更の件

第4号議案：常勤の理事の年間報酬総額決定の件

第1号議案については、まず有馬専務理事が事業報告全般及び収支決算について説明。続いて、総務委員会・井形彰利委員長、企画委員会・広岡義雄委員長、技術・教育委員会・太田 稔委員長、中堅企業委員会・尾池 均委員長、中小企業委員会・岡本光三委員長、環境委員会・尾崎満彦委員長、広報委員会・谷垣哲也副委員長より、各委員会の開催した事業について説明が行われた。そして監事4名を代表して中野秀紀監事から会計監査の報告がなされ、全員異議なく原案通り承認された。

第2号議案については、議長推薦という選任方法について出席者からの承認を受けた後、事務局がその推薦案を読み上げ、全員異議なく承認された。

第3号議案については、専務理事が定款の一部変更（役員の選任 定款第21条3～5項）について説明し、全員異議なく原案通り承認した。

第4号議案については、専務理事が常勤の理事の年間報酬総額決定について説明し、全員異議なく原案通り承認し、以上をもって滞りなく全議案の審議を終えた。

続いて報告事項として

(1) 第49期事業計画及び収支予算の報告の件  
〈平成28年4月1日～平成29年3月31日〉

(2) 京都経済センター（仮称）に関する件  
について専務理事が説明を行った。

総会終了後、役付理事選任理事会を別室にて開催し、新会長に依田 誠氏を選任、更に副会長に武田一平氏、立石文雄氏、錦織 隆氏、片岡宏二氏、山岡祥二氏の5氏を再任、中本 晃氏、小畑英明氏の2氏を新任した。そしてこれを総会出席者全員に報告し、満場の拍手を受け、依田新会長一期目のスタートとなった。



挨拶  
服部重彦京都工業会会長

会 長	依田 誠	(㈱エス・エフ コーポレーション 会長)	新任
副 会 長	武田 一平	(ニチコン(株) 会長)	再任
副 会 長	立石 文雄	(オムロン(株) 会長)	再任
副 会 長	中本 晃	(㈱島津製作所 会長)	新任
副 会 長	小畑 英明	(日新電機(株) 社長)	新任
副 会 長	錦織 隆	(㈱日進製作所 会長)	再任
副 会 長	片岡 宏二	(㈱片岡製作所 社長)	再任
副 会 長	山岡 祥二	(㈱山岡製作所 会長)	再任
専務理事	有馬 透		再任
常任理事	33名		
理 事	27名		
監 事	4名		(新役員名簿は6頁に掲載)

総会終了後、関係諸機関より多数のご来賓の臨席を得て懇親会を開催。冒頭、依田新会長が挨拶を行い、来賓を代表して関 総一郎近畿経済産業局長、山下晃正京都府副知事、門川大作京都市長より祝辞をいただいた。続いて来賓紹介、新副会長挨拶、この春に叙勲の栄に輝かれた(株)島津製作所・服部重彦相談役（本会前会長）、(株)太洋堂・瀧 静子社長に記念品を贈呈、そして新入会員（正会員・コニテック(株)）の紹介を行い、賑やかな雰囲気の中に錦織副会長の乾杯発声で開宴した。

その後は和やかに歓談し、立石副会長の閉会挨拶をもって盛況裡に懇親会を終えた。



挨拶  
依田 誠・新京都工業会会長



祝辞  
関総一郎近畿経済産業局長



祝辞  
山下晃正京都府副知事



祝辞  
門川大作京都市長



挨拶  
中本 晃・新京都工業会副会長



挨拶  
小畑英明・新京都工業会副会長



乾杯  
錦織 隆京都工業会副会長



懇親交流会



閉会挨拶  
立石文雄京都工業会副会長

# 平成28年度（第49期）事業計画大綱

平成28年4月1日～平成29年3月31日

## 1 会の組織強化と会員相互の交流促進

- 1) 総会、理事会、正副会長会議等の開催 ……随時
- 2) 委員会活動の推進 ……随時
- 3) 広報・会員サービス活動の実施 ……随時
- 4) 会員の拡大 ……年間
- 5) 京都工業クラブの開催 ……12回／年
- 6) 新春交歓会の開催 ……定例
- 7) 鳶の会、白鷺クラブ、ゴルフ同好会（KIG）の運営開催 ……随時

## 2 経営・業務革新の促進と人材育成

- 1) 大会・セミナー・視察・見学 ……随時
  - ア. 第19回 京都KAIZEN大会の開催 ……1回／年
  - イ. 第11回 京都TQMフォーラムの開催 ……1回／年
  - ウ. 購買管理特別講演会の開催 ……3回／年
  - エ. 経営企画戦略会議21の開催 ……8回／年
  - ★オ. 経営革新セミナーの実施 ……随時
  - ★カ. 危機管理セミナーの開催 ……随時
  - キ. ISO9001・ISO14001内部監査員養成セミナーの開催 ……随時
  - ク. 他府県産業視察 ……1回／年
  - ケ. 生産革新工場見学会の開催 ……4回／年
  - コ. 開発設計ソリューション見学会の開催 ……5回／年
- ★2) 経営管理懇話会（管理者対象） ……随時
- 3) 業務革新研究会（中堅実務者対象） ……随時
- 4) 技術・情報管理研究会（特定分野管理・実務者対象） ……随時
- 5) 京都高等技術・経営学院（若手技術者対象） ……随時
  - ア. 研究科：電子システム研究科、メカトロニクス研究科
  - イ. 本科：機械設計課程、機械製図課程
  - ウ. 技術スクール：機械加工技術コース
  - エ. 管理スクール：生産管理コース、現場改善コース、コストダウンコース、FMEA・FTAコース、3S/5S構築コース
- 6) 生産革新（TPS）徹底実践研究会の開催 ……随時
- ★7) グローバルQCD研究会の開催 ……随時
- 8) 技術開発支援研究会
  - ア. テクノロジー＆マネジメント研究会の開催 ……13回／年
  - イ. REACH対応特別研究会の開催 ……3回／年
- 9) モノづくりを学ぶセミナー ……随時
  - ★ア. モノづくり革新道場の充実及び特別合宿研修会の開催 ……6回／年
  - ★イ. 新入社員等若手社員を対象とする「モノづくりベーシック講座」の充実開催 ……随時
- ★10) 女性の活躍による企業活力強化支援 ……随時
  - ア. 良いモノづくりのための女性の会の強化 ……5回／年

イ. 京都工業会「女性の会」の活動充実 ……4回／年

## 3 産学公連携の強化と新産業・新事業創出

- ★1) 京都産学公連携フォーラムの開催 ……1回／年
- 2) 京都産学公連携機構との連携 ……年間
- 3) 京都産業育成コンソーシアムとの連携 ……年間
- 4) 産学連携マッチング交流会の開催 ……随時

## 4 経営グローバル化の推進

- ★1) 海外産業視察団の派遣 ……1回／年
- 2) 東南アジアビジネス展開の支援 ……3回／年
- 3) ジェトロ京都貿易投資情報センターとの連携 ……随時
- ★4) 危機管理セミナーの開催（再掲） ……随時
- 5) 海外経済団体との交流 ……随時

## 5 中堅・中小企業の振興

- 1) 生産革新工場見学会の開催（再掲） ……4回／年
- 2) 中小企業見学会の開催 ……6回／年
- 3) 中小企業技術幹部交流会の開催 ……6回／年

## 6 地球環境の保全と環境経営の推進

- 1) 京都環境管理研究会の開催 ……7回／年
- 2) 労働安全衛生研究懇話会の開催 ……7回／年
- ★3) 環境マネジメントシステム（ISO14001及びKES）の推進 ……年間
- ★4) 環境及び労働安全衛生関連課題の動向調査と研究 ……年間
- 5) 京都工業会館内環境関連3団体との協働 ……年間
- 6) 環境問題に関する講演・セミナーの開催（京都経済4団体共同事業） ……1回／年

## 7 京都経済センター移転に向けた取り組み

- 1) 京都経済センター建設委員会による推進 ……随時
- 2) 移転に係る財政的検討 ……随時
- ★3) 工業会スペースの整備に関する検討 ……随時
- ★4) 移転後における事業のあり方に関する検討 ……随時

## 8 地域産業の活性化

- 1) 国・京都府・京都市等関係行政機関との情報交換と協調 ……随時
- 2) 京都経済団体協議会との協調 ……随時
- 3) 府内・外関係経済団体との協調 ……随時
- 4) 京都産学公連携機構との連携（再掲） ……随時
- 5) 京都産業育成コンソーシアムとの連携（再掲） ……随時
- 6) 環境関連3団体との協調（再掲） ……随時
- 7) 青少年と科学の会への支援及び京のエジソンプログラムの推進 ……随時
- 8) 北部地域産業界との連携 ……随時
- 9) 要望活動 ……随時

## 9 京都工業会館の円滑な運営と有効活用

★ 新規事業、★ 重点事業



# 就任ご挨拶

会長 依田 誠



この度、去る5月27日の通常総会におきまして京都工業会の会長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じますと共に、その責任の重さを痛感しております。

7名の副会長をはじめ役員各位、そして会員の皆様方にご支援いただきながら、ご期待に沿えるよう誠心誠意努力いたす所存でございますので、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、わが国経済は急激な円高の進行による企業収益への影響や中国経済をはじめとする新興国経済の景気減速に加え、英国のEU離脱にかかる懸念など、先行き不透明な状況がしばらく続くものとみられます。

このような揺れ動く経済環境の中で、京都工業会はその基本理念である『-21世紀を担うモノづくり集団-京都からモノづくりイノベーション』に沿って、交流活動を通じた産業発展、相互研鑽・人材育成、産学公連携と情報発信等を重点テーマとして具体的に展開してまいります。

京都の製造業は伝統産業により培われた高度な技術と丁寧なモノづくりをベースに、独自の強みを活かし常にグローバルな視点で事業展開を行うなど、日本の製造業のなかでもユニークな存在であり、困難な局面においてもこれを競争力の源泉として乗り越えてきました。京都工業会としても、新しい時代への対応として次の取組みを強化してまいります。

## ①交流を通じた人材育成

グローバルな企業間競争や厳しい経営環境に対応するため、引き続き行政・関係団体との協調と連携を図りつつ、当会の7つの委員会活動を活性化させると共に、会員相互の緊密なコミュニケーションを高めて相互研鑽・交流を深めていきたいと考えます。特に、今後モノづくりに大きな変革をもたらすと予測されるIoTへの対応や女性活躍の推進など、様々な社会変化をシンプルかつ本

質的に取り入れていけるリーダーの育成とネットワークの形成を図ってまいります。

## ②新産業・新事業育成

会員企業には京都の産業を支えている優秀な中小企業様が沢山あります。また、大学はじめ産学公の研究開発拠点の集積度も高く、恵まれた環境にあります。一方で新事業やベンチャー企業の立ち上げにおいてはハードルが高く、これを十分に活かしているとは言えません。これまで築いてきた工業会のネットワークや産学公の連携をさらに強め、このイノベーションへの取り組みを支援していきたいと考えます。

## ③グローバル視点からの中小企業振興

京都は伝統産業と共にグローバルに事業展開している企業が多くありますが、個々の中堅・中小企業においては、世界の顧客・市場と直接関わりを深めることは至難の業です。そのためには経営のグローバル化と人材育成が不可欠であり、その支援に引き続き取り組みます。結果としてその企業努力が京都の独自性・優位性を創出するものと考えます。

これらの考えのもと今年度も交流促進事業や視察・見学会そして経営革新等セミナーの実施など、より実践的に会員企業の発展に寄与する事業を展開してまいります。

2017年は京都工業会が発足から60周年となる記念すべき節目の年です。また、2019年春には京都経済センター(仮称)がオープン予定であり、京都経済百年の計として、四条室町に経済団体等が集結し「交流と融合の場」となる新たな拠点をスタートさせます。

このように新たな道を会員の皆様と歩み、そして喜んでいただける工業会を目指してまいります。変化の激しい時代ではございますが、皆様方の率直なご意見とご協力をいただきながら、全力を尽くしてまいりたいと思います。

## 退任ご挨拶

前会長 服部 重彦



—21世紀を担うモノづくり集団—  
一伝統ある京都工業会の会長を去る5月27日の通常総会をもって退任いたしました。3期6年間にわたり、京都のモノづくり産業の振興に果たす当会の役割の重みを肌身感じながら、微力ではございますが、精一杯努めて参りました。

会長としての任務をどうにか無事に終えることができましたのも、役員、会員の皆様、そして京都府、京都市をはじめとする関係の皆様方の温かいご支援、ご協力の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

平成22年の会長就任時はリーマンショックから大手輸出企業は徐々に回復へと向いつつありましたが、府内の多くのモノづくり企業では未だ深刻な後遺症に苦しんでいました。本会の使命は会員企業の経営力向上と地元産業界の更なる活性化をめざすことにありますが、いつの時代も企業は人が命であり、当会の強みである人材育成事業の更なる強化と交流事業の拡大こそが、本会会長としての最重要課題であると、就任以来一貫して力を入れて参りました。

先ず、人材育成事業はスピードアップする時代の変化を的確にとらえるよう、懇話会、研究会やセミナーにおいて常に会員の皆様に役に立つ企画運営を心がけました。おかげさまで伝統ある「京都高等技術・経営学院」を始め、参加者数は増加の一途であります。就任期間中には新たに「モノづくり革新道場」や「モノづくりベーシック講座」、そして女性活躍促進のための事業として、「良いモノづくりのための女性の会」に加え、管理職や幹部候補による「女性の会」を立上げるなど、当会の人材育成事業は質量ともに全国トップレベルに発展しております。

海外産業視察は、国際情勢を肌で感じることで、そして何よりも参加者同士が寝食を共にし、心からの交流ができることで価値は高く、本会にとり最も重要な事業の一つでもあります。平成22年には、上海万博開催中の中国を訪問し、歴史的な経済発展を成し遂げた人々の熱気と自信を感じることができました。平成23年は日本からの製造業の移転が盛んなマレーシア、インドネシアを訪問したところ、翌年春にはマレーシアのマハティール副大臣が奥様と共に、京都にいらして頂くといううれしい交流もありました。平成24年にはボストンのMITの世界最先端のイノベーション育成組織を訪問し、優秀な技術

やアイデアを持つ個人やグループが潤沢な資金、さらに成功体験を持つ多くのメンターに囲まれ、次から次へと事業として巣立っていくシステムを拝見し、「やはりアメリカ強し」を再認識しました。平成26年には、「バルセロナ スマートシティエキスポ世界会議」に参加し、あらゆるビッグデータを活用した安心、安全で快適な都市空間の創出の可能性に触れ、新たな時代の到来をいち早く体験することができました。昨年のベトナムでは発展に向け真摯に取り組む多くの若者の姿が、戦後復興の我が国の状況と重なり、感慨深いものがありました。海外視察では残念ながらお亡くなりになられた天野副会長を始めご参加された会員の皆様方とお酒を酌み交わしながら、親しく語り合えたのも忘れ難い思い出です。

その他、在任中には会長の会員訪問をスタートし、オンリーワン、ナンバーワンの独自のノウハウで日本のみならず世界で活躍する京都の多くのモノづくり企業の代表とその強みの秘訣を意見交換すると共に、工業会ニュースで紹介し会員の皆様と情報共有することが出来ました。

さて、経済団体の活力の源泉は、会員数でもあります。平成25年には会員拡大運動推進本部を立ち上げ、会をあげて会員拡大に取り組みしましたところ、多くの会社様に本会の事業の魅力をご理解いただき、また特に役員の皆様の格別のご支援により、過去最大の会員数に達することができました。仲間が増え、大変うれしく思うとともにモノづくりの街京都における当会への期待の高さ、責任の重さも改めて感じた次第です。

京都工業会の存在意義は、年々高まりつつあります。平成23年に京都産業を担う中小企業の育成を推進する「オール京都」の体制として設立されました京都産業育成コンソーシアムへは中心的なステアリングコミッティーとして参画。また、平成25年には、京都産学公連携機構へ代表幹事として参画し、オール京都による「イノベーションの都」の推進を共同宣言致しました。京都工業会は平成24年にこれまでの社団法人から公益社団法人に移行し公益の法人として行政や諸団体との関係も密になり、会の存在自体広く認識頂けるようになってきたのではないかと感じております。

後任の依田会長はグローバルビジネスの見識が高く、京都工業会を一層発展させて頂けるものと確信しております。どうか皆様におかれましては、これまで以上のご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。6年間、本当に有難うございました。

# 平成28年度 公益社団法人 京都工業会 役付役員名簿

※印=新任理事

(役職は平成28年5月27日現在、敬称略)

会 長	依 田 誠	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション	会 長	堀 場 厚	(株)堀 場 製 作 所	会長兼社長
副 会 長	武 田 一 平	ニ チ コ ン (株)	会 長	前 川 重 信	日 本 新 薬 (株)	社 長
	立 石 文 雄	オ ム ロ ン (株)	会 長	増 山 晃 章	星 和 電 機 (株)	社 長
	※ 中 本 晃	(株)島 津 製 作 所	会 長	村 田 純 一	村 田 機 械 (株)	会 長
	※ 小 畑 英 明	日 新 電 機 (株)	社 長	村 田 恒 夫	(株)村 田 製 作 所	社 長
	錦 織 隆	(株)日 進 製 作 所	会 長	山 口 進	(株)川 島 織 物 セ ル コ ン	社 長
	片 岡 宏 二	(株)片 岡 製 作 所	社 長	吉 田 由 紀 夫	太 平 工 業 (株)	社 長
	山 岡 祥 二	(株)山 岡 製 作 所	会 長	理 事 安 藤 源 行	(協)日 新 電 機 協 力 会	理 事 長
顧 問	寿 栄 松 憲 昭	元 日 本 電 池 (株)	社 長	伊 熊 浩 之	日 本 た ば こ 産 業 (株)	理 事 長
	田 中 千 秋	元 日 本 電 池 (株)	社 長	井 上 哲 次	京 都 精 工 電 機 (株)	会 長
	矢 嶋 英 敏	(株)島 津 製 作 所	相 談 役	上 野 山 寛 次	上 野 山 機 工 (株)	社 長
	服 部 重 彦	(株)島 津 製 作 所	相 談 役	※ 大 蔵 浩 二	(株)富 永 製 作 所	社 長
専 務 理 事	有 馬 透	(公社)京 都 工 業 会	専 務 理 事	笠 井 健 司	京 都 府 鋳 物 工 業 (協)	代 表 理 事
常 任 理 事	赤 松 儀 隆	三 菱 自 動 車 工 業 (株)	執行役員 パートタイム勤務 執行役員 京都支社長	川 口 剛 史	(株)日 本 ジ ョ イ ン ト	社 長
	※ 井 上 正 英	関 西 電 力 (株)	会 長	小 林 剛 一	日 本 電 気 化 学 (株)	社 長
	岩 田 武 久	(株)た け び し	会 長	阪 口 雄 次	(協)京 都 府 金 属 プ レ ス 工 業 会	理 事 長
	宇 城 邦 英	京 都 機 械 工 具 (株)	社 長	里 村 和 樹	宇 治 電 器 工 業 (株)	社 長
	裏 辻 俊 彦	ニチユ三菱フォークリフト(株)	特別相談役	島 田 理 史	(株)菊 水 製 作 所	社 長
	尾 池 均	尾 池 工 業 (株)	社 長	須 河 進 一	須 河 車 体 (株)	社 長
	大 倉 治 彦	月 桂 冠 (株)	社 長	鈴 木 三 朗	(株)最 上 イ ン ク ス	相 談 役
	大 宮 正	宝ホールディングス(株)	副 会 長	鈴 木 順 也	日 本 写 真 印 刷 (株)	社 長
	岡 本 光 三	(株)大 日 本 科 研	社 長	瀬 川 晋 弘	旭 光 精 工 (株)	社 長
	※ 垣 内 永 次	(株)SCREENホールディングス	社 長	中 村 通	朝 日 レ ン ト ゲ ン 工 業 (株)	社 長
	檜 藤 達 郎	(株)カ シ フ ジ	社 長	根 来 紀 行	(株)松 風	社 長
	※ 北 田 明	第 一 工 業 製 薬 (株)	取 締 役 生産管理本部長	橋 本 耕 一	大 日 本 印 刷 (株)包 装 事 業 部	常 務 取 締 役 担当役員
	久 芳 徹 夫	京 セ ラ (株)	会 長	橋 本 進	(株)京 都 製 作 所	会 長
	児 玉 和	グ ン ゼ (株)	社 長	町 田 徳 男	(公社)京 都 工 業 会	理 事 長
	小 西 久 二	T O W A (株)	専 務 取 締 役	水 主 邦 彦	太 陽 機 械 工 業 (株)	会 長
	※ 小 西 池 透	大 阪 ガ ス (株)	理 事 京都地区総支配人	森 川 真 伍	(株)森 川 製 作 所	会 長
	小 原 勉	(株)工 進	社 長	山 中 泰 宏	旭 金 属 工 業 (株)	社 長
	材 木 正 己	日 東 精 工 (株)	社 長	山 本 正	丹 後 機 械 工 業 (協)	理 事 長
	砂 崎 達 哉	(株)砂 崎 製 作 所	社 長	吉 田 茂 次	サ ン コ ー ル (株)	相 談 役
	園 田 修 三	福 田 金 属 箔 粉 工 業 (株)	社 長	吉 田 典 生	三 和 化 工 (株)	社 長
	竹ノ内壯太郎	三 和 研 磨 工 業 (株)	社 長	渡 邊 壯	松 下 精 機 (株)	会 長
	塚 本 耕 二	(株)モ リ タ 製 作 所	社 長	監 事 河 原 耕 嗣	(株)宮 木 電 機 製 作 所	社 長
	塚 本 能 交	(株)ワ コ ー ル ホ ー ル デ ィ ン グ ス	社 長	佐 藤 博 文	エ ン ゼ ル 工 業 (株)	会 長
	津 田 幸 平	津 田 電 線 (株)	社 長	澤 田 守 成	(株)パ ッ ク ス ・ サ ワ ダ	社 長
	中 川 喜 勝	(株)イ シ ダ	取 締 役	中 野 秀 紀	明 光 精 器 (株)	社 長
	堀 英 二 郎	太 陽 精 機 (株)	社 長			



# 平成28年度 会員企業優秀従業員定例表彰 ～56氏を表彰～

5  
11

5月11日（水）午後、平成28年度優秀従業員定例表彰が、京都工業会館にて行われた。

まず、服部重彦会長より式辞が述べられた後、受賞者全員の名前が読み上げられ、そして受賞者56氏（45社）を代表して、山口 彰氏（菅原精機㈱）へ服部会長から表彰状と記念品が授与された。

続いて、来賓の京都府商工労働観光部 雇用政策監 野村賢治氏、京都市産業戦略監兼産業観光局長 村上圭子氏より祝辞をいただいた後、受賞者代表として岡森 博氏（三和化工㈱）が謝辞を述べた。そして最後に、本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、同表彰式を終えた。



## 〈受賞者名〉 (以下敬称略)

(株) イ シ ダ 金子 浩	三 和 化 工 (株) 岡 森 博	ニチユ三菱フォークリフト(株) 梅下光俊
(株) イ シ ダ 吉田和広	三和研磨工業(株) 加田義雄	(株) 日進製作所 上代裕司
尾池工業(株) 打越正巳	(株) GS ユ ア サ 佐野哲也	(株) 日進製作所 本田康子
大阪ガス(株)京滋エネルギー営業部 尾幡伸一	島津エンジニアリング(株) 基 嘉 八	日新電機(株) 岡村和行
大阪ガス(株)リビング事業部 広野 晃	島津システムソリューションズ(株) 只熊文雅	日新電機(株) 加茂 孝
(株) カ シ フ ジ 伊藤信夫	(株) 島津製作所 福原 肇	福田金属箔粉工業(株) 藤澤道浩
(株) 片岡製作所 中澤 央	(株) 島津製作所 元生博司	福田金属箔粉工業(株) 吉田隆人
(株) 関西電業社 山崎博明	(株)島津ビジネスシステムズ 猪花郁夫	(株) 平安製作所 大賀久司
(株) 菊水製作所 五十棲正次	菅原精機(株) 山口 彰	(株) 堀場製作所 大須賀直博
京 セ ラ (株) 石井 順	星和電機(株) 竹之内光彦	三菱自動車工業(株)パワートレイン製作所 竹内 実
京 セ ラ (株) 山口祐史	太平工業(株) 荒木寛二	(株)宮木電機製作所 梶 敏一
京都機械工具(株) 北村嘉次	太陽機械工業(株) 吉田英二	村田機械(株) 桐村聡司
クロイ電機(株) 西村俊治	太陽精機(株) 森下文代	村田機械(株) 田垣内光一
月桂冠(株) 蔵満浩二	(株)大日本科研 黒田淳史	メテック(株) 西川正英
(株) 工 進 鶴田英嗣	トクデン(株) 礪波宏之	明光精器(株) 中西芳之
サンコール(株) 桐田弘美	T O W A (株) 福原克己	(株)ユーシン精機 門脇順一
サンコール(株) 高嶋弘美	T O W A (株) 松尾 真	(株)ユーシン精機 山田裕之
(株)最上インクス 岡野武司	(株)藤堂製作所 三品 実	機タイヨーアクリス(京都府金属プレス工業会) 川勝義信
(株)佐藤製作所 上南 滋	(株)富永製作所 山田公夫	

## 顧客ニーズに智恵と力を結集し、 総合力でチャレンジ!

株森川製作所 プロフィール  
産業用自動機器の設計、製造。航空機  
用地上支援機器、眼科機器製造。  
資本金：5,000万円 従業員：54名  
伏見区久我西出町3-15  
Tel.075-931-3167

### (株)森川製作所

社長 藤永清恵氏

#### ― 会社創業以来の歩み

1896年 森川平次郎、島津製作所協力工場として創業  
1938年 航空機用気化器部品を製作  
1948年 株式会社に改組  
1994年 画像処理検査装置MT-5000開発  
2001年 (株)森川テック設立  
2003年 ISO14001取得  
2013年 新社屋（現本社）完成、本社工場を移転  
2016年5月 新社長に藤永清恵就任  
2016年6月 創立120周年記念事業挙行



▲今後の抱負を語る藤永社長

#### ― 創業以来の経営ポリシーについて教えてください。

明治29年、創業者が島津製作所二代目・島津源蔵氏に板金技術を認められ、板金を主体とした理化学器械の制作をはじめたのが当社のスタートです。

本年6月に創立120周年を迎えましたが、創業以来連綿として島津製作所様とのお取引を基本にして今日に至っています。

常に次の時代を見つめるという当社のポリシーのもと、日進月歩の技術革新の中で私達が開発してきた技術は広範囲にわたります。お客様に視点を置いたモノづくりが大企業の技術ベースを支えてきました。今後、ますますお客様から求められる技術が高度なものとなる中であって、全社の智恵を結集した総合力で大手家電や精密機械メーカーのベストパートナーとして今後とも製品技術を縁の下で支え続けたいと考えています。

#### ― 新社長として抱負をお聞かせ下さい。

先月、先代社長（森川真伍現会長）からバトンを受け、新社長に就任しました。

基本的には従来の方針を継承しながらも、自分なりの新しい視点で今後の経営のあり方を考えていきたいと思っています。

その手始めとして、経営理念・社是の見直しに取り組むたいと考えており、特に社是については、「人づくり、信頼づくりとモノづくり」と改め、この理念のもとに人材の育成、そして技術力を強化していくことを目指しています。

創業以来、時代に対応した新しい製品づくりに常に社員と共に歩んできた当社にとって、まさに社員は宝であり貴重な人材です。二年前から全社的運動として、ボトムアップ活動を展開し、全社員の意識向上に着手しました。定期的な発表会が大きな役割を果たしており、その成果を頼もしく実感しているところです。

また社員のスキルアップのために研修受講や社内研修の開催要望があれば、可能な限りの支援を行っています。

お客様の声こそが私達の原点で「今、何がお困りですか？」がキーワードです。当社の技術は常にお客様が次世代に向けて考える製品のビジョンから生まれると思っています。当社の技術発想の原点はお客様の声なんです。

「こういうことができないだろうか？」という注文にいつも的確な製品技術で上手に、そしてタイムリーに対応できる、更にはお客様からの仕様に合わせながら、また変更があれば様々な仕様にも合わせるということこそが当社の進むべき方向だと思います。

創業以来今日までの120年を振り返りますと、まさに山あり谷ありの激動の中での経営であったと思っています。今日があるのは、まずもって創業者が確たる信念を持って幾多の困難に遭遇してもめげずにやり抜いたことが第一です。加えてお客様の意向を汲み取り、ベストパートナーを目指し続けた歴代トップの真摯な態度が評価されたのではないかと考えています。

これらの事柄を胸に深く刻みながら、今後の当社の発展に向けて努力していきたいと決意しています。

#### ― “女性社長” についてご自身のとらえ方は？

私自身、“女性社長” という意識はありません。“男性だから” とか “女性だから” という前提は全くなく、社業、仕事への貢献度で個々人を評価していきたいと思っています。

世間一般的に見て、製造業には女性は他業種に比べて少ないこともありますが、今後は「女性活躍社会」到来に向けて、当社にあっても女性能力活用、そして女性が活躍できる場をつくっていききたいと思っています。そのために、私が頑張っている姿が女性社員の目標になるようなれば嬉しいですし、同時に当社に就職を目指す意欲ある女性が多くなればと願っています。



## 第589回 京都工業クラブ

4/22

### 「海外取引/進出におけるリスクと貿易保険」

独立行政法人日本貿易保険大阪支店  
支店長 服部 義一郎氏

海外との取引において内乱やテロ行為、相手方の破産による債権回収困難など各種リスクに対応するため貿易保険の重要性が増していることから、独立行政法人日本貿易保険・服部氏を講師にお迎えした。講演では、貿易取引で想定されるリスクや貿易保険の種類と特徴等の解説がなされ、今後のリスク管理を検討する上で有益なお話をいただいた。



## 第590回 京都工業クラブ

5/20

### 「脳科学と機械知能」

A T R脳情報研究所 所長 川人 光男氏

コンピューターが囲碁で世界トップクラスの棋士に勝利するなど、人工知能（A I）の進歩が目覚ましいことから、長年A Iの開発に携わり世界的にも著名なA T R脳情報研究所・川人氏を講師にお迎えした。講演では人工知能技術の基本から、脳科学との関連、そして今後の可能性等、詳細にお話をいただいた。



## 第591回 京都工業クラブ

6/24

### 「安倍政権、次の一手は～サミットの成果と政局の行方」

日本経済新聞社 論説委員兼編集委員  
坂本 英二氏

伊勢志摩サミットも終わり参議院選挙に向けて政局への関心が高まっていることから、日本経済新聞社・坂本氏を講師にお迎えした。講演では、わが国の政治の現状、経済情勢、外交・安保戦略等の解説、そして政局の行方と、参議院選挙に向けて興味深いお話を頂いた。



## 第592回 京都工業クラブ

7/15

### 「経営戦略としてのダイバーシティ・マネジメント」

（一社）ジャパンダイバーシティネットワーク（JDN）代表理事  
NPO法人J-Win 理事長 内永 ゆか子氏

「女性活躍推進法」の施行により、企業における女性活躍のための環境整備が急務となっていることから、わが国を代表するダイバーシティ推進支援組織の代表である内永氏を講師にお迎えした。講演では、女性活用はダイバーシティ（多様性）の第一歩であるとして、グローバル化時代の企業の戦略としてのダイバーシティの必要性について、お話をいただいた。



## 海外産業視察〈募集〉

### キューバ・カナダ産業視察団

◆カリブ諸国最大の市場と北米の重要拠点を訪ねる◆

アメリカ合衆国との国交回復後、経済発展と国際交流に関心が高まり、開発特区のプロジェクトが進みつつあるカリブ諸国最大の市場キューバと、カナダ最大の都市で経済の中心であるトロントに今年度の産業視察団を派遣することになりました。

奮ってご参加くださいますようご案内します。

【視察国】 キューバ、カナダ  
【日 程】 10月16日（日）～ 21日（金）〈6日間〉  
【団 長】 京都工業会 会長 依田 誠  
(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション 会長

月日	地 名	日 程
10/16 (日)	伊丹空港 トロント ハバナ	伊丹空港発（羽田空港経由） （経由） 着後、ホテル
10/17 (月)	ハバナ	産業視察Ⅰ（現地企業等） ハバナ市内視察
10/18 (火)	ハバナ 近郊都市 ハバナ	産業視察Ⅱ（開発特区等） 近郊都市の都市環境等視察
10/19 (水)	ハバナ トロント ナイアガラ	空路、トロントへ ジェトロ・トロント事務所訪問 産業視察Ⅲ（現地企業等） サンセットカクテルクルーズなど
10/20 (木)	ナイアガラ トロント	専用車でトロントへ トロント空港より帰国
10/21 (金)	羽田空港 伊丹空港	羽田経由伊丹空港へ 伊丹到着後、現地解散



いつでも、あなたの  
ビジネスのそばに。



## 京都中央信用金庫

本店／京都市下京区四条通烏丸西入ル

TEL 075-223-2525

FAX 0120-201-580（フリーダイヤル）

URL [www.chushin.co.jp](http://www.chushin.co.jp)

# 平成28年度 業務革新研究会(8研究会)を総勢219名で発足、活動開始

～総合オリエンテーション（4/27）を経て、5月例会を開催！～

## 総合オリエンテーション

4月27日、正午から「技術・教育委員会と各研究会の正副主査との懇談会」を開催、研究会の運営方法や正副主査の役割などについて、意見を交換した。

その後、13時30分より京都工業会館に総勢219名が一堂に会し、総合オリエンテーションを開催した。

冒頭、技術・教育委員会 委員長 太田 稔氏（日新電機(株)人材開発部主幹）が、「今こそ、他社事例やアドバイザーの講義、演習、実習などから各自の業務革新能力を磨き、新たな社内ベンチマーク化へのヒントを持ち帰って欲しい」と挨拶した。

続いて、研究会活動を行う上での基本事項を確認後、当研究会事業のOBでもある(株)村田製作所 シニアマネージャー 鈴木敏之氏より「今、モノ作りに求められること」と題して講演が行われた。

終了後、8研究会は、それぞれに分かれ、年度方針の検討を行った。



総合オリエンテーション

## 5月例会を順次開催

総合オリエンテーションにおいて発足した各研究会は、GW明けから順次5月例会をスタートし、各アドバイザーを迎え、それぞれ基調講演やそれに基づく活発なグループ討議等が行われた。以下、特徴的な講演内容の一部を報告する。

### 【生産革新研究会：TPM改善部会】（5月20日）

高橋文彦アドバイザー（(株)高橋事務所 代表取締役）が、「多様化時代の効率経営の追求は、生産を生業とする製造業の基本軸を煎じ詰めれば物流とし、スルーな物流を阻害する第一は不良と故障である、幾多のIEや生産システムは不良・故障のない土台の上にある」と講演された。

〈稼働率と可動率〉

稼働率 =  $(M/T) / (T/T) = (1日に必要な数) / (1日で作れる数)$

→営業が決める。稼働率が100%付近なら能力をあげれば良い。

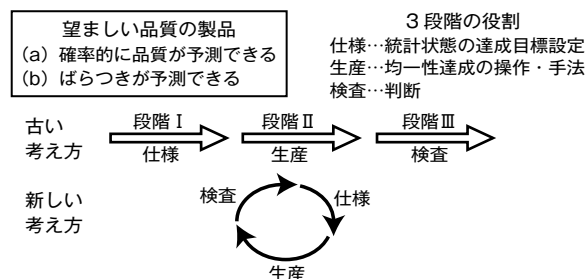
可動率 = 1回で良品を作れる率。すぐに動けることの指標

→TPMの本質。可動率は変動させられる。

### 【品質革新研究会】（5月24日）

高山直彦アドバイザー（(株)島津製作所 分析計測事業部副参事）が、「従来、品質管理にはコストがかかり、損失コストと改善コストには妥協点がある。不測の事態に対応する損失コストは莫大なものであるため、不良の少ない製品・サービスがもたらす顧客満足とともにその評判に根付くブランド価値が生み出される。本研究会では損失コストを削減するために何をすべきか考え、実践する」と講演された。

〈統計的品質管理〉



## 〈各研究会の正副主査名〉（敬称略）

NO	研究会名	正副主査名・社名
1	品質革新 (39名)	福井 智（(株)富永製作所） 青木 潤（日新電機(株)） 山本泰之（(株)モリタ製作所）
2	生産管理 (28名)	入江祐介（(株)島津製作所） 守田浩司（尾池バックマテリアル(株)） 木下俊幸（(株)日本ジョイント）
3	購買調達革新 (18名)	青木 淳（ローム(株)） 榎村和紀（(株)島津製作所） 河野恵太（須河車体(株)）
4	VE (19名)	野又佳祐（(株)GSユアサ） 真継 匡（(株)イシダ） 原 賢二（星和電機(株)）
5	生産革新：基礎IE部会 (40名)	藤元祐也（エスベック(株)） 田中良寿（田中精工(株)） 名執耕司（(株)山岡製作所）
6	生産革新：JIT改善部会 (29名)	三好 有（(株)イシダ） 大田健介（ニチコン草津(株)） 増子賢仁（(株)村田製作所）
7	生産革新：TPM改善部会 (11名)	村田晃夫（ニチコン亀岡(株)） 野村一広（京都機械工具(株)） 大原和也（島津プレジジョンテクノロジー(株)）
8	生産現場リーダー力強化 (35名)	本田貴史（ナルックス(株)） 今中明弘（トタニ技研工業(株)） 古川敦大（ニチユ三菱フォークリフト(株)）

## 叙 勲 の 栄

本年度の春の叙勲が発令され、本会関係では次の2氏がその栄に輝かれました。  
会員の皆様とともに、心よりお祝い申し上げます。



**旭日重光章 御受章**  
**服部 重彦氏**  
(本会顧問 (前会長)  
(株)島津製作所 相談役)



**旭日双光章 御受章**  
**瀧 静子氏**  
(株太洋堂 社長)

## 訃 報



**瀬川 孝氏**  
(旭光精工(株) 会長)  
(平成11年5月～18年5月まで本会監事  
平成18年5月～26年5月まで本会理事  
5月4日、ご逝去されました。  
(享年80歳))

**松風 定二氏** (株松風 元社長)  
(平成元年5月～8年5月まで本会理事  
5月12日、ご逝去されました。(享年81歳))

ここに、会員各位とともに謹んで哀悼の意を表します。

## 白鷺クラブ 活動レポート

4月7日(木)

### 創立40周年を祝う



4月7日夕刻より、白鷺クラブ創立40周年記念式典が親会である京都工業会より依田 誠副会長、錦織 隆副会長、山岡祥二副会長、有馬 透専務理事を来賓に迎え、白鷺クラブ、そしてそのOB会である鳶の会の両会会員多数が出席のもと、ホテルグランヴィア京都において行われた。

式典では、丸山栄三白鷺クラブ代表幹事が、「今回一つの大きな節目である40周年を迎えるにあたり、17名での創立以来、実に多くの諸先生、諸先輩に御指導いただいたことに深く感謝したい。積み重ねてきた研鑽の成果を今後の事業活動に生かしつつ、設立の主旨を忘れることなく会員一同一丸となって取り組み、京都工業会そして京都産業界に大いに貢献していきたい。」と力強く式辞を述べた後、依田京都工業会副会長から祝辞が述べられた。更には、白鷺クラブから京都工業会へ記念品の贈呈を行い、式典を終えた。

引き続き祝宴に移り、錦織京都工業会副会長の乾杯発声で開宴、参加者一同大いに歓談して、記念すべき白鷺クラブ創立“満40歳”を祝った。

尚、同クラブでは記念事業の一環として「40周年記念誌」を同日発刊した。

4月7日現在の会員数：白鷺クラブ37名、鳶の会：25名



ゆたかなコミュニティを求めて

コミュニティ・バンク 京都信用金庫は  
地域の皆様とともに歩んでまいります  
これからもよろしくお願いいたします



<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>



～今回から、本会「女性の会」の参加企業における女性活躍推進のための取り組み状況をシリーズでご紹介頂きます。～

## 京都工業会「女性の会」参加企業における 女性が輝く☆ 企業の取り組み 事例紹介①

オムロン(株)グローバル人財総務本部業務部  
ダイバーシティ推進グループ 森 督子

### オムロン株式会社

京都市下京区塩小路通堀川東入  
社長：山田 義仁 創業：昭和8年  
資本金：641億円 従業員数：4,689名  
制御機器、電子機器等製造

#### ■ダイバーシティ（多様性）は、オムロン発展の原動力です。

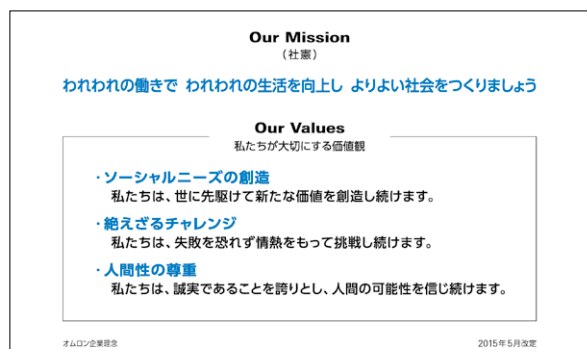
オムロンは、企業理念の実践における大切な価値観「Our Values」のひとつとして「人間性の尊重」を掲げています。

わたしたちは、この価値観に基づき、様々な考え方を持った多様な人財が、国籍・宗教・婚姻の有無・性別・性的指向・障がいの有無などに関わらず、個性や能力を存分に発揮し活躍できる企業になることを目指しています。

オムロンで働く多様な人財が企業理念を原点に、志を一つにしてチャレンジすることで、多様性がもたらすイノベーションの創造を可能にし、事業を通じた社会的課題の解決が実現できると信じています。

世界中の人々からその存在を必要とされ、期待される企業となるために、これからも積極的にダイバーシティを推進します。

【図1：Our Values 私たちが大切にしている価値観】



#### ■女性活躍推進

・目標を定めて女性の自分らしい活躍と女性管理職の増加を目指しています。

女性活躍は重要なテーマであることから、2012年4月から「ダイバーシティ推進グループ」（専任組織）を設置し、取り組みを加速しています。

女性といっても、いろいろな立場、役割、能力、プライベート環境があって、仕事を通じて目指す姿や描くゴールは、100人いたら100通りあります。それぞれの目指す活躍の実現を「対話」と「腹落ち」をキーワードに、丁寧に議論しながら一步一步事例を積み上げて前に進めています。

具体的には、各メンバー別に女性の更なる活躍機会の拡大に向けた取り組みをしています。

日本国内のオムロンで働く女性たちには、ダイバーシティ推進長が自ら日本国内の事業所を順番にまわり、「女性が生き生き働くために」の題材で講演会を行っています。会社が本気でダイバーシティ推進を実行していく覚悟を伝え、今後の自分自身の活躍への気づき、動機づけを行っています。管理職一步手前の候補女性社員には、「WILL」と「SKILL」と「NETWORK」構築の場として研修を実施しています。管理職に対しては、多様な人財の活躍を進めるダイバーシティマネジメント教育を実施しています。



女性リーダー研修での議論の様子

この取り組みを通じて、オムロングループで進めてきた女性活躍をさらに加速させるとともに、多様な人財が活躍できる意識・風土を醸成し、個人と会社が共に成長する姿を実現していきます。

#### ※女性活躍推進に関する行動計画策定

女性活躍推進法の施行（2016年4月1日）にあたり、オムロングループ各社の実態にあわせ、女性活躍を進めるための具体的な目標と行動計画を策定し、社内外に公表しました。

<http://www.omron.co.jp/about/csr/society/employee/employee/>

#### ・「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に参画

2016年5月より、内閣府が支援する輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会に代表取締役社長CEO山田も参画しています。当会の行動宣言である「自ら行動し、発信する」「現状を打破する」「ネットワーキングを進める」は、オムロンが掲げるダイバーシティの推進とも合致します。今後も、様々な機会を通じて社内外に発信することで、一人ひとりが自分らしく活躍し、成長できる環境づくりに取り組んでいきます。

【図2：輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会】



## 京都工業会 ニュース No.387

2016年8月10日発行

発行 公益社団法人 京都工業会

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2  
TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755  
URL: <http://www.kyokogyo.or.jp>  
E-mail: [info@kyokogyo.or.jp](mailto:info@kyokogyo.or.jp)